はじめに

南砺市教育長　松本謙一です。

南砺市利賀地域において、地域住民の皆様と一体となって作り上げてきた南砺利賀みらい留学は、令和３年４月から長期コースを開始し、これまでに１期生１０名、２期生１３名、３期生１２名の留学生を送り出してまいりました。

３月２３日に行われた修園のつどいでは、一人一人が１年間を通して得た経験を自らの言葉で発表している姿に確かな成長を実感できました。中でも、留学生全員が心を一つにして演奏した太鼓の披露は、たいへん気迫に満ち、聴く者の心に感動を与えてくれました。

令和６年度は、１０名を迎え、４期長期コースが始まりました。子どもたちは新たな１年間、利賀の恵まれた環境を生かした自然体験、農作業体験、そして今年度から小中一貫の義務教育学校として新たに開設した利賀学舎に通い、まさに利賀地域の子供として新生活に胸をふくらませているところです。

長期コースでは１カ月のうち約２０日間を、拠点施設であるこのスターフォレスト利賀において、育てる会の指導員と寝食を共にしながら生活します。残りの約１０日間は、里親となる利賀地域の受入れ民家にホームステイをすることで、豊かな山村の暮らしの素晴らしさと大切さを学んでいきます。

さまざまな経験を積みあげることで、立派に成長していくことを期待するとともに、心温かい地域住民の方との交流を通して、利賀地域を「こころのふるさと」と思ってもらえるよう願っています。

おわりに、これから１年間大変お世話になります公益財団法人育てる会様、ＮＰＯ法人利賀山川まもる様、ホームステイの受け入れ家庭の皆さま等関係各位に重ねて感謝を申し上げます。そして、子どもたち、保護者の皆様、そして地域の皆様にとって魅力的な事業となりますよう願っています。

放課後は探検、わくわく…

【活動日程】

4／3　入園のつどい
4／6　地域散策
4／7　茶碗づくり
　　受け入れ家庭対面式
4／13　青年団クリーン作戦参加
　　ふるさとマラソン大会参加
4／14　デイキャンプ
　　農作業
4／20　田おこし･畑おこし
4／21　ホームステイ開始

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　／　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp　／　WEB：http://www.nanto-toga.com/

4／3　入園のつどい

今年は継続生２名に新たな留学生８名を加え、10 名で、第４期がスタートしました。つどいの中では、ひとり一人が自己紹介のスピーチし、「自然の中でたくさん遊びたい。」「5 分前行動を志したい。」等それぞれの想いが述べられました。

今年度も１年間、どうぞよろしくお願いいたします。

4／6　村内散策

はじめの週末活動は、留学センターがある上利賀地域を散策する活動を行いました。３つのチームに分かれてそれぞれ地図を持ち、15 か所に設置されたチェックポイントを探しました。「屋号を３つ聞く」「食べられる植物を見つける」などの課題をクリアしつつ「瞑想の郷でお昼食べたよ」「山の斜面登ったんだよ！」と自分たちでも楽しみを見つけたようでした。子どもたちの質問に答えてくださるなど、ご協力くださったみなさま、ありがとうございました！

私は地域散策のときにリーダーになりました。地図を読むのが苦手な私は、とてもリーダーが務まる気がしませんでした。ですが、そんな私を助けてくれたのが仲間でした。地図が読めない私のかわりに仲間が地図を読んでくれました。私も、優しい仲間をサポートするべく、みんなが疲れてきたら休憩をはさんだり、ちゃんと目標を示したりしました。助け助けられて仲間との絆を感じる、そんな幸せな一日になりました。（こはね）

4／7　茶碗づくり

砺波青少年自然の家にて茶碗づくりを行いました。明治時代から続く伝統的な焼き物である「越中三助焼」の窯元の方に作り方を教えてもらい、地域の歴史文化に触れながらの活動となりました。最初は苦戦していましたが、慣れてくると綺麗な茶碗の形になるように調整したり、飾りをつけたり、着色にこだわったりと、自分だけの茶碗を作れるように試行錯誤していました。余った粘土は箸置きとして、自由に造形を楽しみました。焼き上がったら、その茶碗を一年間食事で使います。自分で作った茶碗を大切に使い続けることが、この活動の本番です。

4／7　受入家庭対面式

茶碗づくりから戻った後、今年度ホームステイでお世話になる受け入れ家庭のお父さん・お母さんとの対面式を行いました。始まる前に、大きな声で自己紹介ができるように練習した成果もあり、受け入れ家庭の皆さんの前では元気いっぱい自己紹介をすることができました。割り振りが発表されると、各ご家庭のお父さん・お母さんとかたい握手を交わし、終了後には温かいムードで談笑していました。21 日から、ホームステイが始まり、受け入れ家庭の方々との生活や、その地域の方々との交流など、センターではできない体験を皆楽しみに過ごしています。

4／13　青年団クリーン作戦参加／ふるさとマラソン大会参加

13日（土）、晴れわたる春の陽気の中で、クリーン作戦とふるさとマラソンに参加しました。青年団主催のクリーン作戦では、午後のふるさとマラソンのコース上のゴミを拾っていきます。昼食のカレーを楽しみにしながら、ゴミ袋には入りきらない程多くのゴミを拾いました。

美味しいカレーを食べた後は、ふるさとマラソン大会に参加しました。小学生と女子は3.0km、中学生男子は7.6kmの道のりを地域の皆さんと一緒に駆け抜けました。そして、全員が無事に完走。適度な疲労感と爽やかな達成感を得た一日でした。

ぼくはクリーン作戦とふるさとマラソンに出ました。クリーン作戦では、タイヤ・鉄がいっぱい出てきました。かんやペットボトルも大量に出てきました。すごいゴミがいっぱい出てきました。キーマカレーを食べてふるさとマラソンに出ました。キーマカレーを食べすぎて、あんまりはやく走れませんでした。ぼくは2位でした。ぼくはふたごなので、姉に負けてくやしかったです。でもしょうじょうや景品がもらえたのでうれしかったです。（そうすけ）

4／14　デイキャンプ

今年度初のキャンプ活動。基礎的なキャンプワークの習得のため、２人１組のペアを組んで飯盒炊飯を実践しました。まずは薪集めから。「これは燃えやすいから着火用にしよう」「この枝は飯盒を吊るすのに使えるね」と、木々の特徴を見ながら枝を集めていきます。続いてかまどを作る際は、風向きを読みながらレンガを組んでいきました。そしていよいよ火をつけます。皆すぐに安定した火を起こし、無事にご飯を炊くことができました。少し焦げてしまったペアもありましたが、それも美味しいキャンプの味でした。

みらい留学農事歴

4/20　田おこし・畑おこし

【畑】今年度最初の農作業は、畑おこしでした。ミーティングのあと、自分たちが耕す畑へ。肥料をまいてから、備中鍬で畑全体を耕しました。初めはぎこちなく鍬を振るっていた新入園生も、徐々に慣れた様子に。「疲れた！」「あと一列！」と言いながら、冬の間固まっていた土を、全面耕すことができました。

【田んぼ】４月の作業は、「田起こし」です。午前中の畑起こしの後、昼食を摂ってから作業を開始しました。最初は「畑よりも広いじゃん…」「もう疲れた…」と悲壮感を露わにした子どもたちでしたが、黙々と作業をする子やしゃべったり励ましあったりしながら作業を続け、２時間半ほどで作業を終えることが出来ました。全体での作業終了後に有志で土中に埋まった大きな石を掘り起こすと、「なんで田んぼに大きな石が？！」と皆驚きの声を上げていました。

保護者だより

真旭は継続生として山村留学２年目を利賀で過ごすことになりました。

１年目の様子は初めての連続で少し余裕のないようにも見えましたが、２年目は入園の前から違っていました。春休み、センターからの書類を見ながら荷造りを全部自分でやりました。

しかも、「お母さんに見てもらわなくてもいい」とのことで私は確認もせずに送り出しました。結果は…今のところ不都合なことはないようです。山村留学に行ってから自分のことは自分でする！という気持ちが強くなりました。

２年目は継続生の男子として最高学年になり、責任感も芽生えて顔つきが少し変わってきたように思います。

真旭には姉がいますが弟や妹はいません。センターでの生活で自分より小さい子たちと過ごす時間はとても貴重でありがたいものです。

山村留学では親元での生活だけでは経験できないことを経験させてもらえるのが魅力だなと感じています。利賀の皆さんの力を借りながらいろんな経験をしてたくましく成長することを願っています。

今年も１年よろしくお願いします！

Supporters' Voice

※留学生を見守り、支えてくださっている地域の方から、メッセージをいただきます♪

磯村　咲智子さん（利賀村青年団長／指導補助員）

磯村咲智子です。愛知出身で、地域おこし協力隊の任期３年を経て現在利賀に住んで働いています。

協力隊の時からたまに宿直として留学生や指導員の方と関わらせていただき、毎年、留学生に久しぶりに会うと心身共にたくましく成長していて、また、利賀の人といつの間にか仲良くなっていて、いつも凄いなと思って見ています。

今年度早々、留学生と利賀の子どもたちには４月 13 日の青年団のクリーン作戦に参加していただき、トラック一杯以上のゴミを拾ってくれるガッツを見せていただきました。留学生の方たちはこれから利賀の生活を楽しく、また、辛い時は修行と思って自分のペースで一歩一歩進んでいって下さい。

青年団主催クリーン作戦での昼食風景

みらい留学　定地定点

※留学生は利賀の四季を体感する定「地」定点観測のため、毎朝外に出て「朝のつどい」を行っています。朝のつどいでは、自然にまつわる声かけを指導員からひとつ。記録の一部を紹介します。

４／５（金）　くもり　気温：6℃　【フキノトウ】

・春は苦み。においをかいでみよう。

・調理して食べるとおいしいよ！

放課後にさっそく摘んできて、
ふきみそや天ぷらをたくさん作っていました！

４／１４（日）　晴れ　気温：９℃　【ツバメの巣】

・センターの食堂下にはツバメの巣がたくさん。他に、キセキレイの巣もある。

・燕の巣は幸福を呼ぶといわれ、昔から大切にされてきた。ぜひこれからも観察を。